

2021年3月期第2四半期 決算説明会

2020年11月25日

ユニチカ株式会社

1. 2021年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産
- ・財務体質健全化に向けた推移

2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

3. 2021年3月期通期業績予想

- ・2021年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・主要施策の進捗
- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

1. 2021年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産
- ・財務体質健全化に向けた推移

2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

3. 2021年3月期通期業績予想

- ・2021年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・主要施策の進捗
- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

業績の概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、自動車用途や建築土木用途等の需要減少により減収。

営業利益は、原燃料価格などプラス要因も、販売減少により減益。

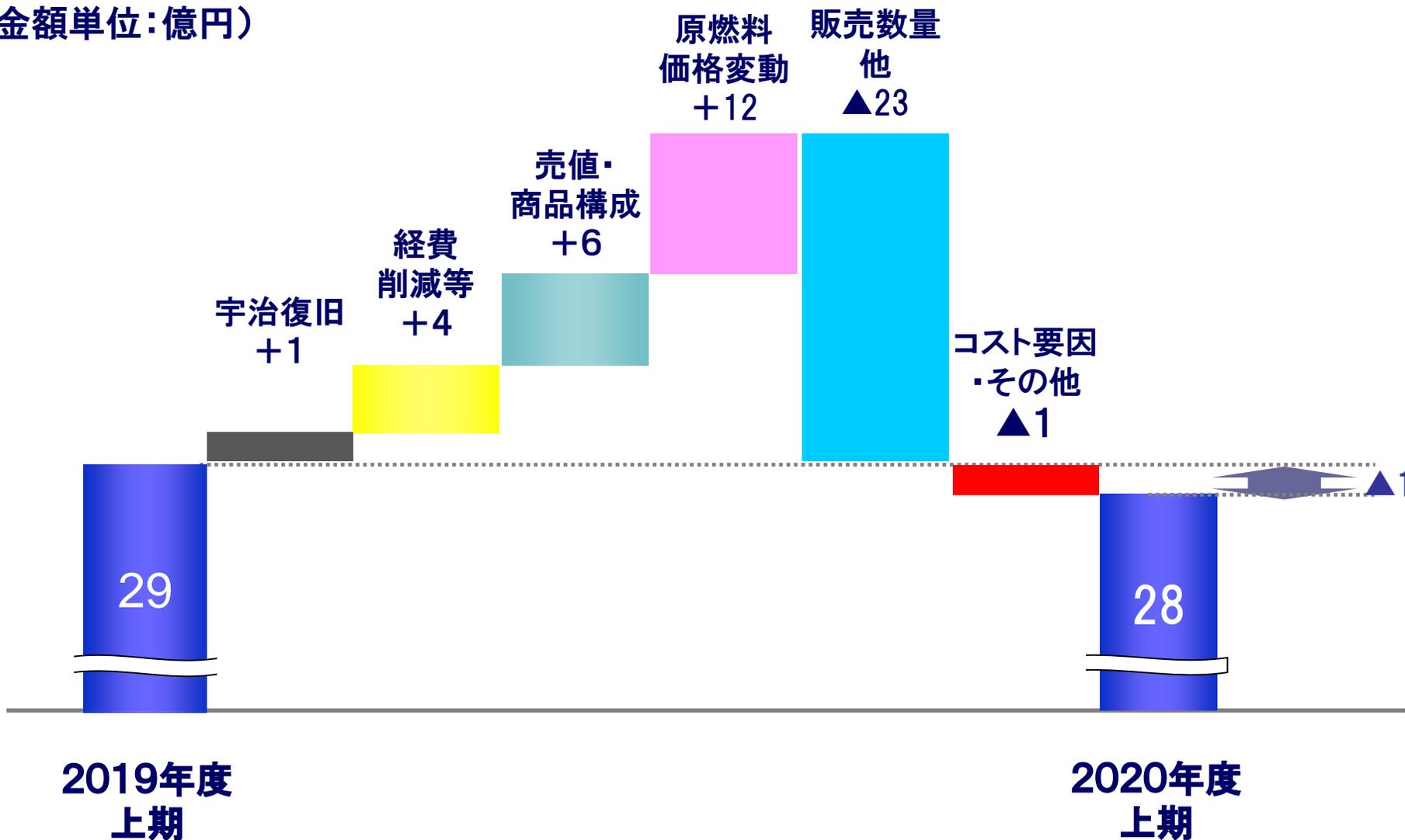
為替差損の増加などにより、営業外損益はマイナスに影響。

当期は大きな特損要因は無く、宇治火災に伴う受取保険金（34億円）により、四半期純利益を計上。

連結合計 (金額単位:億円)	19年上期 実績	20年上期 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	605	548	▲57	▲9%
営業利益	29	28	▲1	▲2%
営業利益率	4.7%	5.1%	(0.4%)	—
営業外収益	3	3	▲0	—
営業外費用	11	15	5	—
経常利益	21	16	▲5	▲25%
特別利益	1	35	35	—
特別損失	32	10	▲22	—
税金等調整前 四半期純利益	▲10	42	52	—
四半期純利益	▲14	37	51	—
減価償却費	23	22	▲1	▲4%
設備投資	32	30	▲1	▲4%

営業利益変動要因分析

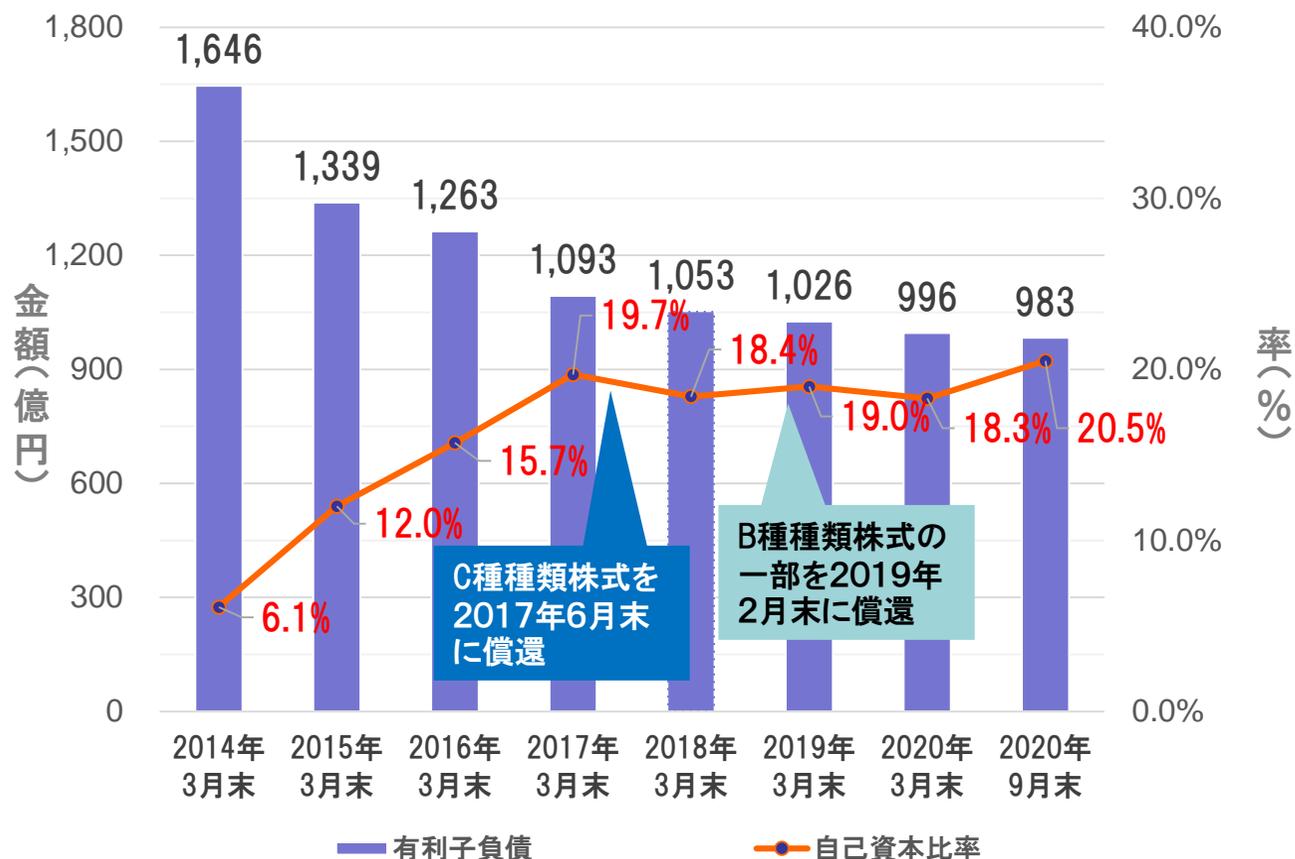
(金額単位: 億円)



資産・負債・純資産

(金額単位:億円)	2020年3月末	2020年9月末	前期末比増減
資産合計	1,937	1,918	▲19
流動資産	822	797	▲26
固定資産	1,115	1,122	+7
負債合計	1,548	1,491	▲57
純資産合計	389	427	+38
株主資本	348	382	+34
その他の包括利益累計額	7	11	+4
非支配株主持分	35	34	▲0

有利子負債、自己資本比率の推移



財務体質の健全化

■有利子負債削減
2020年9月末は983億円となり、着実に削減は進んでいる。現預金を差し引いたネット有利子負債は768億円。

■自己資本比率
2020年9月末は2020年3月末と比較して2.2ポイント増加し20.5%となった。

1. 2021年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産
- ・財務体質健全化に向けた推移

2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

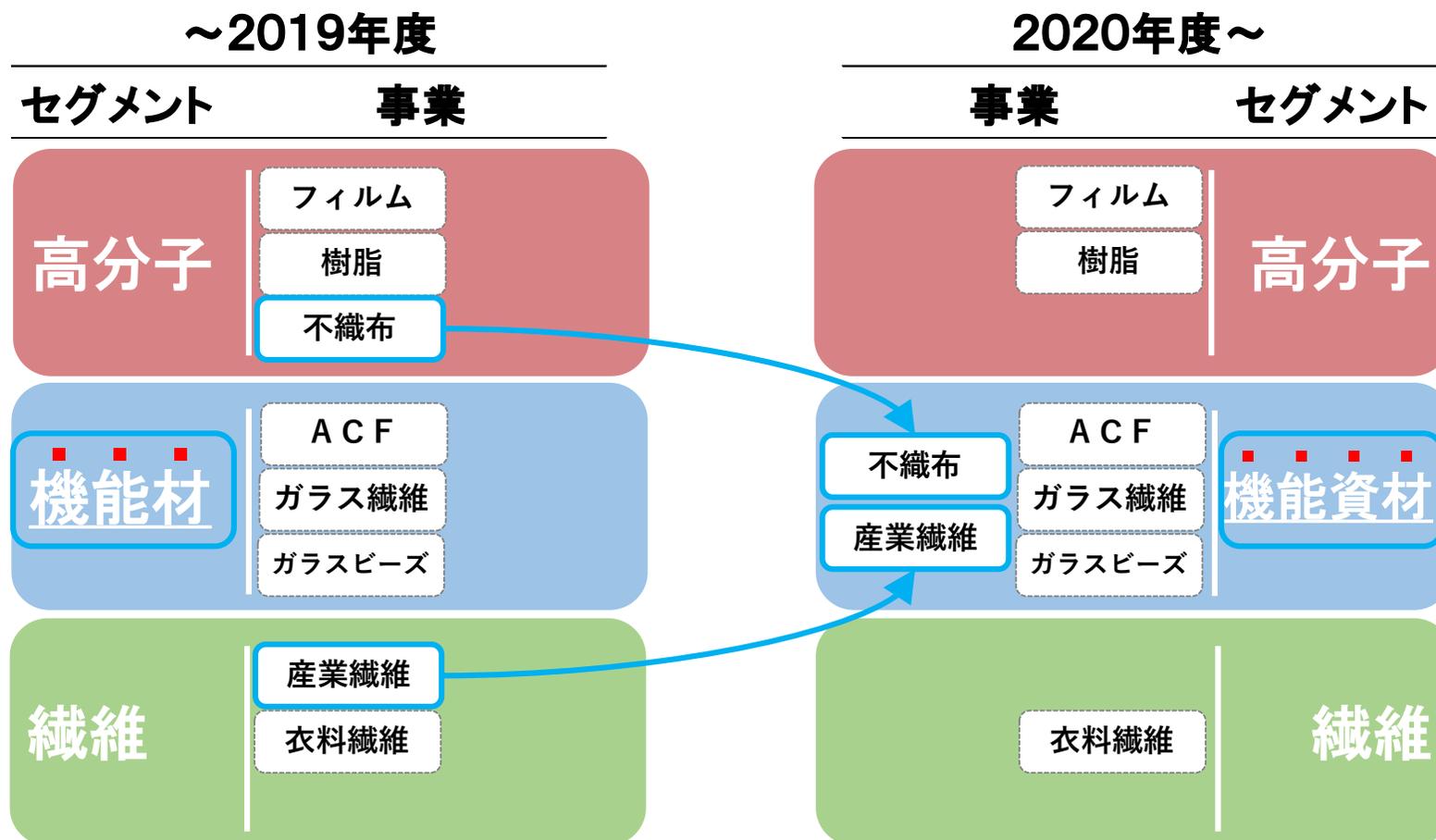
3. 2021年3月期通期業績予想

- ・2021年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・主要施策の進捗
- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

セグメントの一部変更（2020年度～）



※第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更。なお、本資料中のセグメント別前年同期実績は、変更後のセグメントにて作成しています。

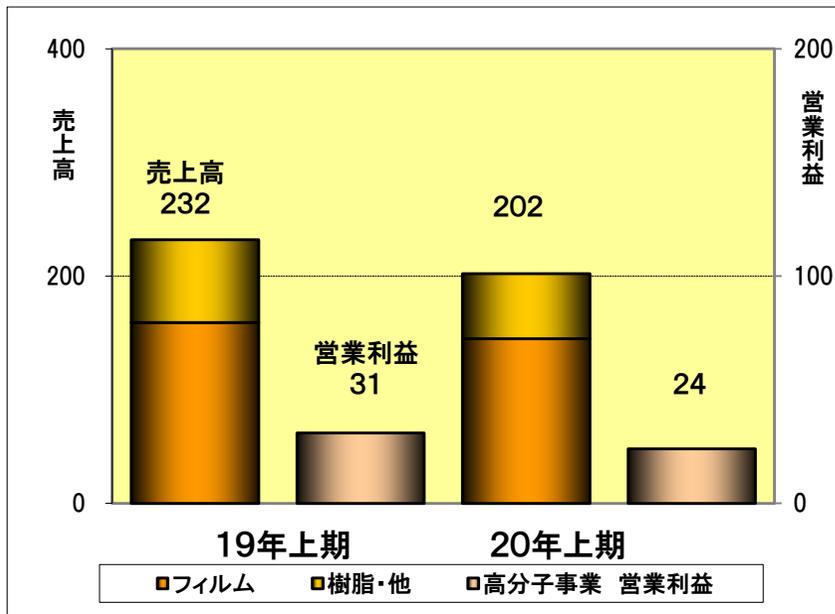
セグメント別 業績の概要

セグメント別 (金額単位:億円)	19年上期 実績	20年上期 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	605	548	▲57	▲9%
高分子事業	232	202	▲30	▲13%
機能資材事業	167	145	▲21	▲13%
繊維事業	205	201	▲4	▲2%
その他	1	0	▲1	—
営業利益	29	28	▲1	▲2%
高分子事業	31	24	▲7	▲23%
機能資材事業	▲0	3	3	—
繊維事業	▲1	2	2	—
その他	▲1	▲0	1	—

※第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更。なお、本資料中のセグメント別前年同期実績は、変更後のセグメントにて作成しています。

新型コロナ影響による需要減少、市況停滞により減収減益

(金額単位:億円)	19年上期	20年上期	増減
高分子事業 売上高	232	202	▲30
フィルム	159	145	▲14
樹脂・他	73	57	▲16
高分子事業 営業利益	31	24	▲7



□高分子 [減収・減益]

◆フィルム

◆包装分野

「巣ごもり需要」の影響により、食品や液体洗剤の詰め替えなどの用途は一時的に需要増。土産菓子用途などのインバウンド需要は低調。

バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」などの高付加価値品は国内外で堅調。

◆工業分野

情報端末機器用途などの販売減少も、シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」などの高付加価値品の販売が堅調。

◆樹脂

◆ナイロン樹脂

自動車の生産減少の影響を受ける。加えて、流通在庫の過多により、販売回復に遅れ。

◆ポリアリレート樹脂「Uポリマー」

情報端末機器用途や事務機器用途に加え、海外販売で苦戦。

自動車、建築土木等で苦戦。ICクロスは、PCや半導体用途が堅調。

(金額単位:億円)	19年上期	20年上期	増減
機能資材事業 売上高	167	145	▲21
ガラス繊維	42	38	▲4
ガラスビーズ関連	14	12	▲2
活性炭繊維(ACF)	11	9	▲2
不織布	55	47	▲8
産業繊維	45	39	▲6
機能資材事業 営業利益	▲0	3	3

□機能資材
[減収・増益]

◆ガラス繊維・産業資材分野

工事延期等により建築土木用途のテント、シート等の販売が減少。環境関連用途の販売も低調。

◆ガラス繊維・電子材料分野

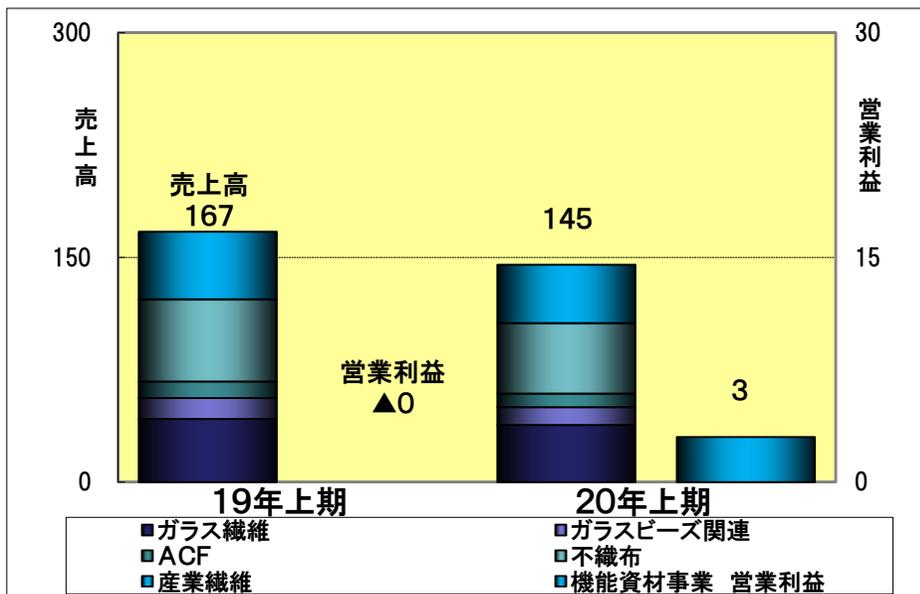
ICクロスは、情報端末機器用途は伸び悩む一方、テレワークの増加によりPCや半導体用途は堅調に推移、超薄物や低熱膨張タイプなどの高付加価値品の販売が好調に推移。

◆ガラスビーズ関連

工業用途は自動車や機械部品関連の需要減少の影響を受け苦戦、反射材用途及び道路用途も低調に推移。

◆活性炭繊維(ACF)

自動車用途が減少したことに加え、海外販売も減少。浄水器用途は、住宅設備関連の販売が減少。



(次頁続く)

自動車、建築土木等で苦戦も、医療用ガウンや衛生材用途が伸長。

(金額単位:億円)

	19年上期	20年上期	増減
機能資材事業 売上高	167	145	▲21
ガラス繊維	42	38	▲4
ガラスビーズ関連	14	12	▲2
活性炭繊維(ACF)	11	9	▲2
不織布	55	47	▲8
産業繊維	45	39	▲6
機能資材事業 営業利益	▲0	3	3

(続き)

□機能資材
[減収・増益]

◆不織布・спанボンド

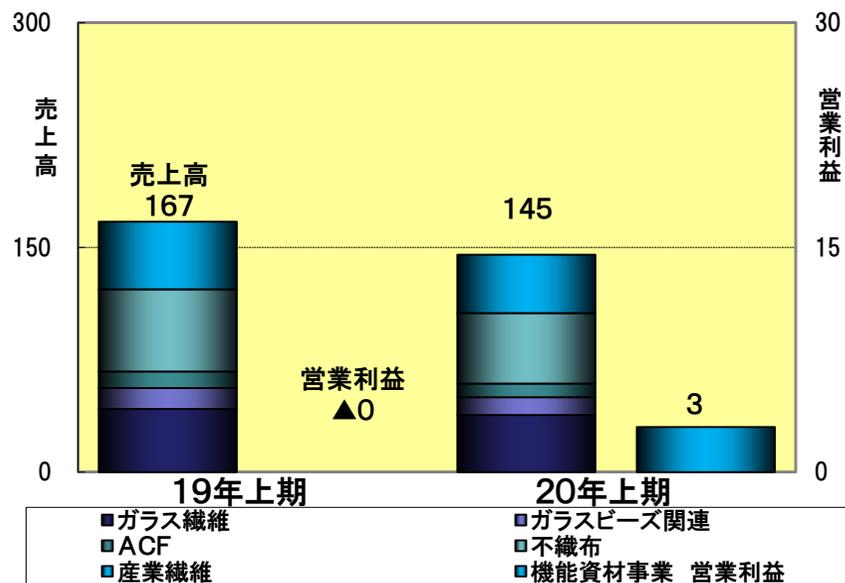
国内外において建築、自動車などの各用途が低調。生活資材用途は医療用ガウン向けなどで伸長し、好調に推移。

◆不織布・спанレース

医療用ガウンや除菌シートなどの用途が伸長し、スキンケア用途などの減少分をカバー。

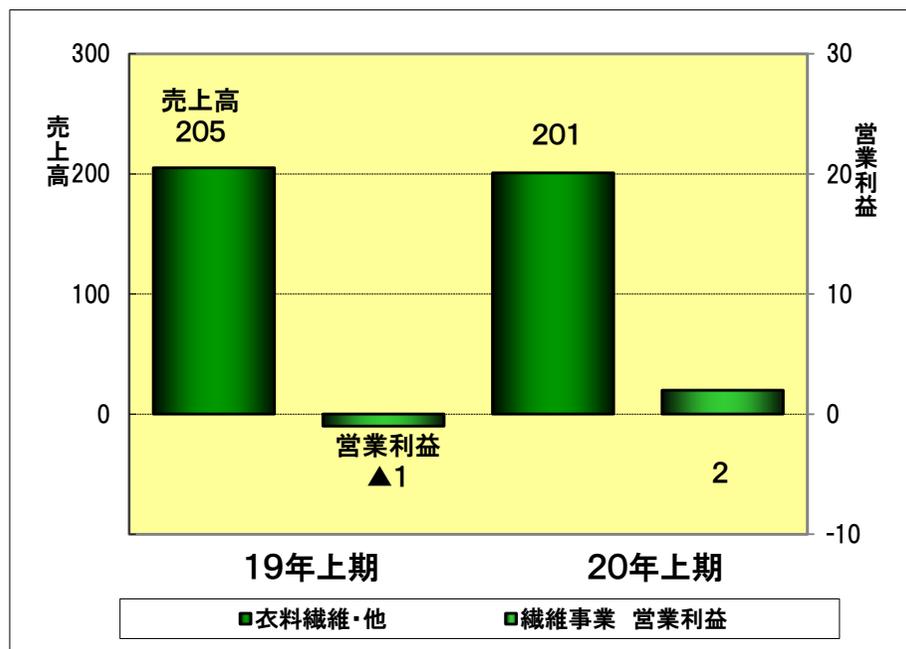
◆産業繊維

ポリエステル短繊維は、一部の衛生材用途は好調。ポリエステル高強力糸は、建築土木用途で、工事延期等の影響を受け販売が減少し、また、自動車、生活資材などの各用途も低調。



各分野で全般的に低調も、医療用ガウンの好調により、減収増益。

(金額単位:億円)	19年上期	20年上期	増減
繊維事業 売上高	205	201	▲4
衣料繊維・他	205	201	▲4
繊維事業 営業利益	▲1	2	3



□繊維・他
[減収・増益]

◆衣料繊維・他

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各分野で全般的に厳しい状況で推移。

主力のユニフォーム分野を始めレディス分野など全般的に厳しい状況で推移しましたが、医療用ガウン及び防護服用途の販売が伸長。

原燃料価格の好転や、医療用ガウン等のプラス影響も見られたが、一方で、コロナ影響による、生産減少、市況停滞等が各事業の収益を押し下げる要因となった。

		2020年度		今後の見通し	
		1Q	2Q	3Q	4Q
高分子	プラス影響 +	「巣ごもり需要」 フィルム			
	マイナス影響 -	自動車、電気電子、機械 需要減 フィルム 樹脂		第2四半期を底に 緩やかな回復基調	
機能資材	プラス影響 +	医療用ガウン、衛生材用途需要増 不織布 産業繊維			
	マイナス影響 -	自動車、建築土木需要減 不織布 産業繊維 ACF ガラス繊維 ガラスビーズ		第3四半期に 緩やかに回復	
繊維	プラス影響 +	医療用ガウン、防護服用途需要増 衣料繊維			
	マイナス影響 -	一般衣料・ユニフォーム需要減 衣料繊維		需要回復には 時間を要する	

1. 2021年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産
- ・財務体質健全化に向けた推移

2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

3. 2021年3月期通期業績予想

- ・2021年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・主要施策の進捗
- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

2021年3月期通期業績予想

(金額単位:億円)	2019年度 通期実績	2020年度 通期予想 (11/10 修正)	前年比 増減
売上高	1,195	1,100	▲95
営業利益	55	44	▲11
経常利益	32	27	▲5
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲22	38	60

前提	2020年度 下期
原油 (\$/バレル)	45
為替 (円/\$)	110

セグメント別業績予想

(金額単位: 億円)	売上高			営業利益		
	2019年度 通期実績	2020年度 通期予想	増減	2019年度 通期実績	2020年度 通期予想	増減
高分子事業	462	415	▲47	57	46	▲11
機能資材事業	318	305	▲13	0	4	+4
繊維事業	414	380	▲34	0	▲5	▲5
その他	1	0	▲1	▲3	▲1	+2
合計	1,195	1,100	▲95	55	44	▲11

※第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更。なお、本資料中のセグメント別前年同期実績は、変更後のセグメントにて作成しています。

1. 2021年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産
- ・財務体質健全化に向けた推移

2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

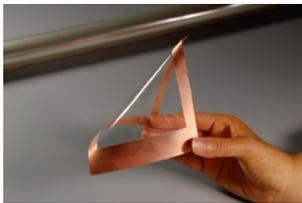
3. 2021年3月期通期業績予想

- ・2021年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・主要施策の進捗
- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

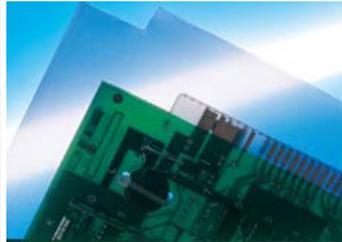
主要施策の進捗(高分子セグメント①)

	施策		進捗状況(前年同期比)	評価
フィルム	エンブレムアジア製品のグローバル市場拡大		コロナ影響による、包装需要の増加	○
	バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の展開		惣菜やレトルトコーン向けなど、販売が国内外で伸長、売上高は1.2倍に拡大。	○
	工業用ポリエステルフィルムの拡販		シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」は国内外に拡販、売上高は1.4倍に拡大。	○
	耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」の拡販		一部用途で需要が減少し、売上高は減少。	△

主要施策の進捗(高分子セグメント②)

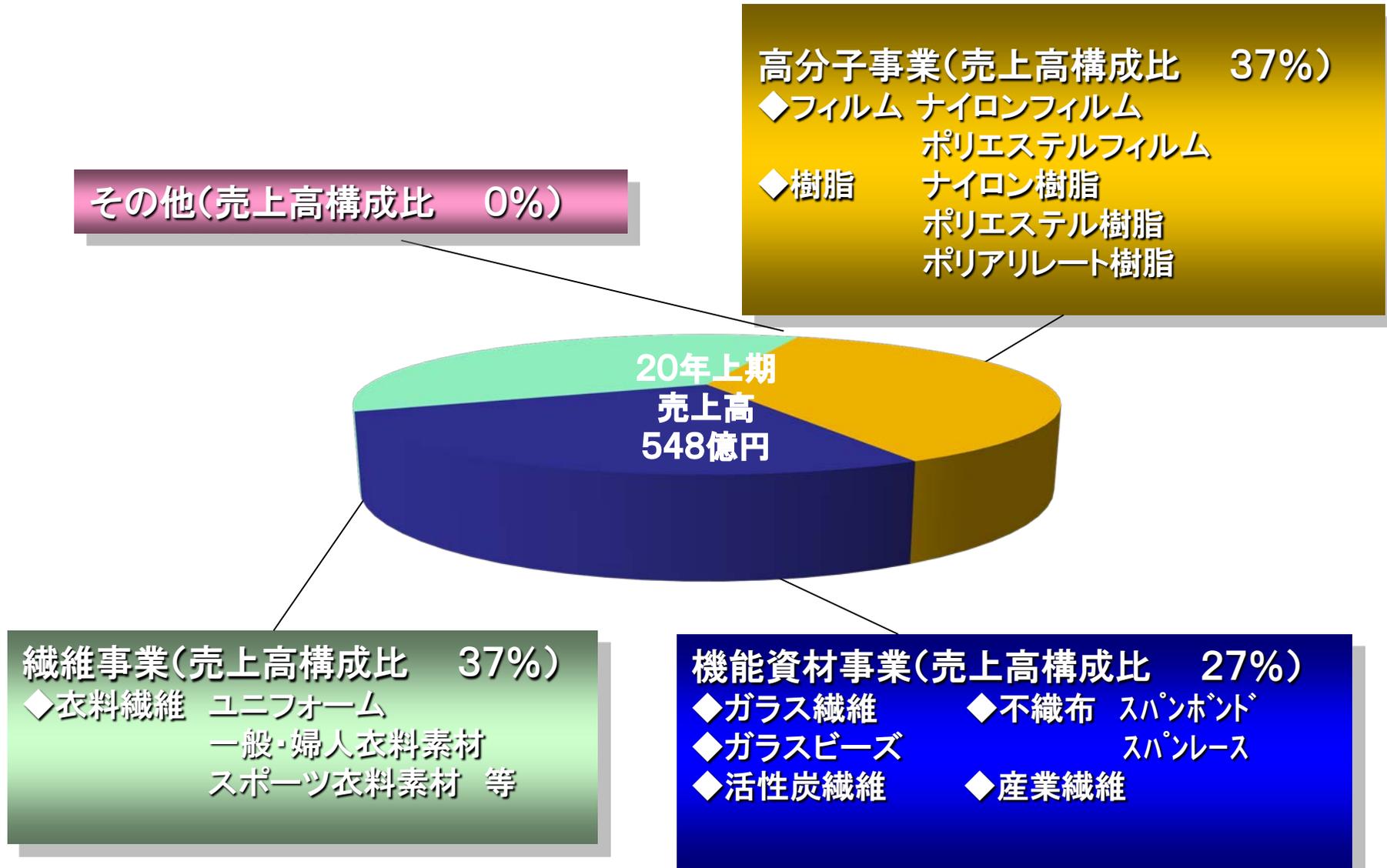
	施策		進捗状況(前年同期比)	評価
樹脂	「アローベース」の拡販		太陽電池用途では需要減少。新規用途での拡販を進める。	△
	「Uポリマー」の拡販		情報端末機器用途や事務機器用途に加え、海外販売も苦戦。	△
	機能性樹脂の拡販		コロナ影響により、販売苦戦。	△

主要施策の進捗(機能資材セグメント)

	施策		進捗状況	評価
活性炭 繊維 (ACF)	浄水器用、及び空気浄化用フィルターの 拡販による海外市場の開拓		自動車用途の減少に加え、海外販 売も減少、浄水器用途は、住宅設備 関連の販売が減少。	△
ガラス 繊維	産業資材・電材分野(特殊クロス等)の拡 販		産業資材分野は、建築土木用途、 環境関連用途が低調。電子材料分 野は、半導体用途は堅調に推移、 高付加価値品の販売は好調。	○
不織布	спанボンド 生活資材用途、 海外向け自動車部材の拡販		生活資材用途を中心に堅調に推移。	○
産業 繊維	ポリエステル 付加価値品の拡販		主要顧客への付加価値品の販売拡 大を進める。	△

※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	40% (1位)	食品包装用 (世界シェア 約15%)	同時二軸延伸技術 商品のバリエーション
	ポリアリレート樹脂	当社 独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能資材	ガラスクロス(産業用)	20% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	原織・製織技術
	ガラスビーズ	40% (1位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品のバリエーション
	ポリエステルスパンボンド	35% (1位)	自動車内装、建築、土木資材 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	コットンスパンレース	60% (1位)	衛生材料、生活資材、医療資材	天然素材のシート化技術



ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。